

広報とうかい 村民の叡智が生きるまちづくり Tokai

December [No.802]

12・10

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2011年 [平成23年]

Contents [12月の主な話題]

- 職員の給与と職員数を公表します……………2
- 選挙のお知らせ……………3
- 立候補予定者・出納責任者予定者の
説明会を開催ほか**
- 東海村二酸化炭素排出量実態調査の結果……………4
基準年と比較して22.2%削減
- 緑のカーテンのまちづくりコンテスト
受賞作品発表……………5
- 252点の応募の中から選出されました**
- 国民健康保険制度をお伝えします……………8
- 新連載スタート「国保だより」**
- 災害に関するお知らせ……………8
- 茨城県弁護士会による
「原発事故被害者救済センター」を開設**
- いんふおめーしょん……………13
- 市町村職員をかたる「還付金等詐欺」に
ご注意くださいほか**
- わが家の子育て奮戦記……………16
[豊白]高橋千恵さん・優菜ちゃん



職員の給与と職員数を公表します

●問い合わせ 人事課人事担当(☎282-1711 内線1321)

村では、451人の職員が福祉や教育、土木、消防など、皆さんの生活に密着した仕事に携わっています。職員の給与等は、条例・規則などで定められていますが、住民の皆さんに一層のご理解をいただけるよう、村職員の給与や職員数を公表します。なお詳細は、村公式ホームページでご覧いただけます。

◆給与の状況

【人件費の状況(平成22年度普通会計決算)】

区分	歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)	人口(住民基本台帳法に基づく)
平成22年度	17,119,215千円	3,551,251千円	20.7%	37,842人(平成23年4月1日現在)
平成21年度	19,281,220千円	3,561,222千円	18.5%	37,405人(平成22年4月1日現在)

【職員の平均給料月額等の状況(平成23年4月1日現在)】

区分	一般行政職員	消防職員	教育職員	技能労務職員
平均給料月額(A)	312,900円	321,000円	289,500円	278,500円
平均給与月額				
平均職員手当月額(B)*	99,700円	73,700円	26,500円	26,100円
合計(A+B)	412,600円	394,700円	316,000円	304,600円
平均期末・勤勉手当年額	1,353,300円	1,385,300円	1,066,600円	1,123,400円
平均年齢	41.3歳	39.3歳	39.7歳	49.7歳

※「平均職員手当月額」に期末・勤勉手当は含まない。

【職員の初任給の状況(平成23年4月1日現在)】

区分	一般行政職員	消防職員	教育職員	技能労務職員
大学卒	172,200円	187,500円	172,200円	
高校卒	140,100円	158,100円	152,800円 (短大卒)	137,200円

【職員手当の状況(平成23年4月1日現在)】

区分	支給割合	
	期末手当	勤勉手当
期末手当 勤勉手当	6月期	1.225月分
	12月期	1.375月分
	合計	2.6月分
区分	支給割合	
	自己都合	勤奨・定年
退職手当	勤続20年	23.50月分
	勤続25年	33.50月分
	勤続30年	41.50月分
	最高限度	59.28月分

【特別職の報酬等の状況(平成23年4月1日現在)】

区分	給料月額	区分	報酬月額
村長	850,000円	議長	430,000円
副村長	658,000円	副議長	388,000円
教育長	616,000円	議員	367,000円

◆職員数の状況

【部門別職員数の状況(単位：人／平成23年4月1日現在)】

区分	一般行政部門								特別行政部門			公営企業等部門				合計		
	議 会	総 務	税 務	民 生	衛 生	農 水	商 工	土 木	小 計	教 育	消 防	小 計	病 院	水 道	下 水道		その他*	小 計
職員数	4	84	20	75	36	13	1	28	261	84	55	139	1	11	11	28	51	451
	4	83	20	70	33	14	2	29	255	86	55	141	1	11	11	29	52	448
差引	0	1	0	5	3	▲1	▲1	▲1	6	▲2	0	▲2	0	0	0	▲1	▲1	3

※「その他」は国民健康保険事業、老人保健事業、土地区画整理事業、介護保険事業に係る職員数。

【採用者数・退職者数の状況(単位：人／平成22年4月1日～平成23年3月31日)】

区分	採用者数				退職者数				
	試験採用	選考採用	再任用	採用者計	定年退職	勤奨退職	普通退職	再任用満了	退職者計
一般行政職員*	11	0	2	13	4	2	0	2	8
消防職員	2	0	0	2	0	1	1	0	2
教育職員*	9	0	0	9	1	1	2	0	4
企業職員	2	0	1	3	1	0	1	1	3
合計	24	0	3	27	6	4	4	3	17

※「一般行政職員」「教育職員」には、職種により技能労務職員が含まれます。



選挙のお知らせ

●東海村選挙管理委員会(総務課内) ☎282局17111 内線1313

東海村選挙管理委員会から、東海村議会議員一般選挙についてお知らせします。今回は「立候補予定者出納責任者予定者の説明会」と「郵便等による不在者投票制度」についてです。

立候補予定者・出納責任者予定者の説明会を開催します

村選挙管理委員会では、立候補の届け出や選挙運動費用に関する説明会を開催します。立候補を予定している方や出納責任者になる予定の方は出席してください。

▼期 日 12月15日(木)

▼時 間 立候補予定者説明会：午前9時30分～
出納責任者予定者説明会：午後1時30分～

▼場 所 原子力視察研修室(役場行政棟5階)

「郵便等による不在者投票制度」をご利用ください

「郵便等による不在者投票制度」は、身体に重度の障がいなどがあり、投票所へ行くことが難しい方が自宅等から郵送で投票できる制度です。

▼対 象 身体障害者手帳、戦傷病者手帳、介護保険被保険者証をお持ちの選挙権を有する方で、次に該当する方

●身体障害者手帳をお持ちの方

障がい等の記載内容	障がいの程度		
	1級	2級	3級
両下肢、体幹、移動機能の障がい	○	○	○
心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障がい	○	○	○
免疫、肝臓の障がい	○	○	○

●戦傷病者手帳をお持ちの方

障がい等の記載内容	障がいの程度		
	特別 項症	第1 項症	第2 項症 第3 項症
両下肢、体幹の障がい	○	○	○
心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓の障がい	○	○	○

※このほか、両下肢等の障がいの程度がこれらの障がいの程度に該当することを県知事が書面により証明した方も対象となります。

●介護保険被保険者証をお持ちの方

要介護状態区分	要介護5
その他	○

▼その他 対象者のうち、上肢または視覚に障がいがある方(身体障害者手帳に障がいの程度が1級、戦傷病者手帳に障がいの程度が特別項症、第1項症、第2項症と記載の方、県知事がこれらの障がいの程度に該当すると証明した方)は、あらかじめ「代理記載人」(選挙権を有する方)を届け出ること、代筆により投票できます。

▼この制度を利用する場合の手続き

①「郵便等投票証明書」の申請

村選挙管理委員会(役場行政棟3階)備え付けまたは村公式ホームページからダウンロードした「郵便等投票証明書交付申請書」に本人が必要事項を記入の上、身体障害者手帳、戦傷病者手帳または介護保険被保険者証を添えて、村選挙管理委員会へ申請してください。後日「郵便等投票証明書」を郵送します。証明書は、有効期間内に行われる他の選挙で投票用紙等を請求する際にも使用できます。

②投票用紙の請求

投票日が近くなりましたら、「投票用紙請求書」を郵送します。平成24年1月18日(水)までに必要事項を記入の上、「郵便等投票証明書」を添えて、村選挙管理委員会へ請求してください。

▼投票期間 平成24年1月18日(水)から21日(土)まで

▼告示日(立候補届出受付日)

▼期日 平成24年1月17日(火)

▼時間 午前8時30分～午後5時

▼場所 原子力視察研修室(役場行政棟5階)

▼投票日

▼期日 平成24年1月22日(日)

▼時間 午前7時～午後8時

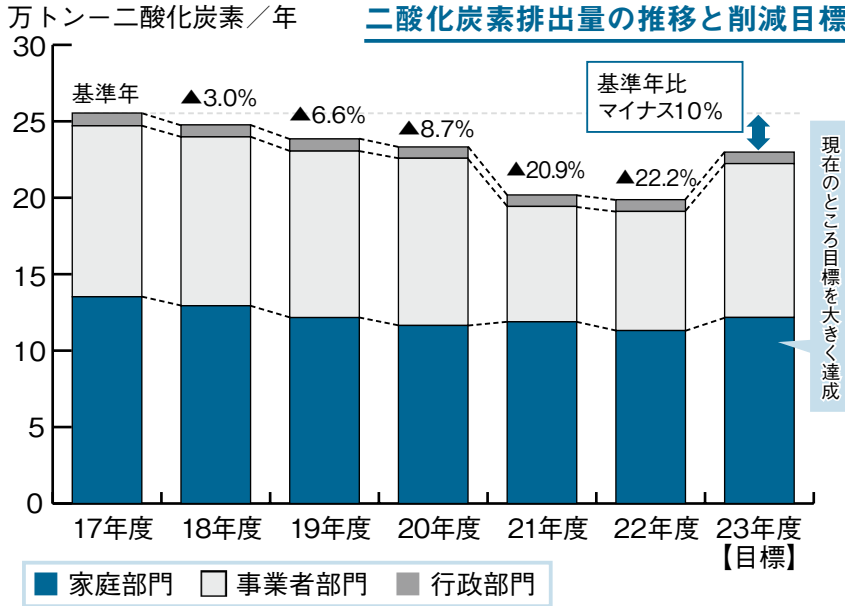
▼場所 村内14か所の投票所

東海村二酸化炭素排出量実態調査の結果

東海村地球温暖化対策地域協議会では、「東海村地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、地球温暖化対策を実施しています。計画の進行管理に当たって、村内のどこからどのくらい二酸化炭素が排出されているのかを把握するため、平成17年度から毎年、二酸化炭素排出量実態調査を行っています。

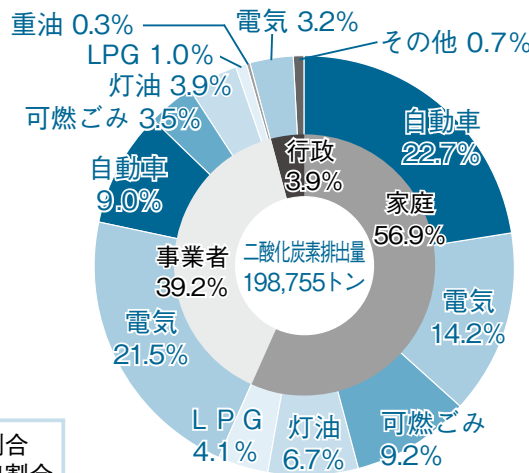
平成22年度は、一般家庭(49.2世帯・全世帯の3.4%)と事業者(74事業所・全事業所の5.9%)の皆さんに調査の協力をいただきました。その結果、二酸化炭素の排出量が平成17年度(基準年)と比較して、22.2%削減されていることが分かりました。今回は、その調査結果をお知らせします。

二酸化炭素排出量の推移と削減目標



主体別・排出源別二酸化炭素排出割合 (平成22年度)

家庭部門の自動車の利用による二酸化炭素排出量が大きいことが分かります。エコドライブに努めるなど、二酸化炭素の排出抑制にご協力をお願いします。



内円…主体別排出割合
外円…排出源別排出割合

夏に引き続き 節電にご協力ください

役場庁舎をはじめ公共施設の電気使用量は、この夏(6月～9月)、施設利用者や役員職員が一丸となって節電対策に取り組んだ結果、対前年比98万6103キロワット減(18.6%減)、電気料金比較では2254万2315円の減(1キロワット1122.86円で計算)となり、目標の電気使用量15%削減を達成することができました。ご協力ありがとうございました。

引き続き、電気使用量15%削減を目標に節電対策を実施します。施設利用者の皆さまにはご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

●役場庁舎の主な取り組み

- ▼正午の一斉消灯(1階を除く)
- ▼エアコンの設定温度を19度とし原則午前10時までとする
- ▼エレベーターの稼働は1基のみとする
- ▼トイレの暖房便座の電源を切る など

使用電力量の削減状況

	平成22年 (kwh)	平成23年 (kwh)	実削減量 (kwh)	削減量 (%)
6月	1,174,925	990,066	▲184,859	▲15.7
7月	1,306,620	1,081,465	▲225,155	▲17.2
8月	1,396,715	1,084,591	▲312,124	▲22.3
9月	1,415,613	1,151,648	▲263,965	▲18.6
合計	5,293,873	4,307,770	▲986,103	▲18.6

緑のカーテンのまちづくりコンテスト 受賞作品発表

村では、植物の持つ遮光性や蒸散効果などを利用した自然の涼しさで空調電力を抑制し、二酸化炭素排出量を削減することを目的に「緑のカーテンのまちづくりコンテスト」を実施しました。

今回が初めてとなるコンテストですが、458件の参加申し込みがあり、応募作品数は252点にも上りました。応募いただいた作品は、さまざまな品種や形等があり、皆さん、緑のカーテンの育成を楽しみつつ夏を過ごしたようです。

10月28日、「東海村地球温暖化対策地域協議会 進行管理部会」が応募作品の審査を厳正に行い、各部の受賞作品が選出されましたので紹介します。



幅7m×高さ6m

【一般の部】最優秀賞(笹沼英文さん)

受賞理由…①部屋の明るさを保ち、圧迫感をなくすために入り口を設けた点 ②幅7m×高さ6mという大きな面積を確保した点



幅100m×高さ3.5m



幅18m×高さ3m



幅3.6m×高さ3m

【事業者の部】優秀賞(第二幸の実園) 【コミセンの部】優秀賞(中丸)

【単位自治会の部】優秀賞(百塚区)

【一般の部】優秀賞



幅4m×高さ2m



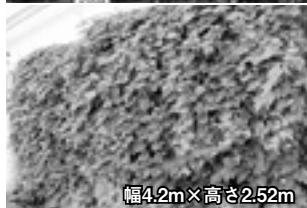
幅13m×高さ5.6m



幅5.5m×高さ3.5m



幅5m×高さ3m



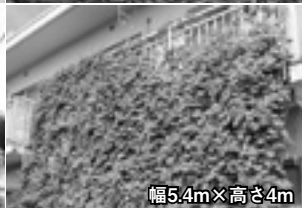
幅4.2m×高さ2.52m



幅3.6m×高さ4.5m



幅7m×高さ4m



幅5.4m×高さ4m

11月24日に表彰式を行いました！



一般の部の最優秀賞受賞者には、電動アシスト自転車が贈られました。

■問い合わせ 環境政策課環境計画推進室(☎282-1711 内線1453・1454)

「東海村地球温暖化対策地域協議会 進行管理部会」とは

東海村地球温暖化対策地域協議会は、村の地球温暖化対策の推進を総括的に行うことを目的に、平成18年6月に設置されました。構成部会の一つ、「進行管理部会」は、地球温暖化対策の根幹となる計画を進行管理するとともに、効果的な対策を立案するための統括的な役割を果たす部会です。



※写真は審査時の様子です。

審査員
紹介

ず〜むあつぱ 「まちの風景」



●東海村文化祭 2011

11月2日から6日にかけて、東海文化センターと総合体育館で「東海村文化祭2011」が開催されました。東海文化センターではダンスや音楽などの発表が行われたほか、総合体育館では書道や生け花などの作品や文化活動の成果を報告したパネル等が展示され、子どもから大人までさまざまな文化活動に親しむことができたようです。



●「まずは相談を！」母子寡婦家庭の支援のために活動

10月27日、全国の母子寡婦福祉指導者等が一堂に会して行われる「平成23年度全国母子寡婦福祉研修大会」の研修討議において、関東ブロック代表として発表をした境洋子さん(石神外宿)が村長を訪問しました。境さんは県に働き掛けて「母子家庭等就業自立センター」を設立するなど、母子寡婦への就労のフォロー体制を整えてきた実績から、県でも初の発表者として大役を果たしました。「社会保障の問題等さまざまありますが、子どもは社会で育てるという意識が必要」と話す境さん——「何よりお母さんたちに伝えたいのは相談してほしいということです」と、支援策や情報を得るためにも“孤立しない・させない”ことが課題であることを述べました。

●特別支援教育者の充実を目指して

11月1日、「いばらき教育の日」推進大会において、東海南中学校教諭の宮本絹子さん(石神外宿)が「ティーチャー オブ ティーチーズ」の称号を授与されました。これは、他の教員の模範となる優秀な教員として県から毎年5人に贈られるもの。宮本さんは、主に特別支援学級を担当し、生徒全員が真剣に学ぶことのできる学習環境づくりに尽力してきました。「特別支援は教育の原点」と話し、個に応じた指導方法を考え、他の教員と協力してその体制づくりにも取り組んできた宮本さん——地域の幼稚園、保育所(園)や小中学校と連携してさらなる支援体制づくりを目指すなど、これからの特別支援教育において、活躍が期待されます。



●秋の叙勲で「瑞宝単光章」受章おめでとございます

11月3日付で、平成23年秋の叙勲等が発令されました。村内では、小川一男さん(舟石川・元東海村消防団団長)が、多年にわたり消防業務に精励し、消防の発展に貢献してきた功績から「瑞宝単光章」を受章しました。昭和25年3月に、石神村消防団に入団した小川さんは、昭和47年3月に退団するまで自治体消防のため努力してきました。消防経験が豊富であること、地域住民の信望も厚いことから、昭和55年に再び消防団の世界へ——約34年、消防団のために心血を注ぎました。今回の受章に当たり、小川さんは「本業である農業の傍ら団長としての責任を果たすには、家族の支えなしではできなかった」など、当時は振り返り、家族への感謝の気持ちを話してくれました。



●「ごはんにしよう!」は過酷な状況を乗り切るキーワード

11月16日、東海村文化講演会が開催され、映画「南極料理人」の原作者・西村淳さんによる講演が行われました。西村さんは、地球上最も過酷といわれる土地での越冬経験を、笑いを誘う語りで紹介するとともに、南極観測隊の料理人として、隊員の「食べたい」に応じて作った工夫料理を紹介しました。「料理は笑顔と少しのごまかし」と話す料理は、限られた食材をアレンジした本物顔負けの味であるとともに、見た目も“そっくり”。食べられないと思っていた懐かしい料理を食べられる喜びと、その手間や工夫を皆で笑い合う食卓が、厳しい環境での生活の中でとても重要なことを感じさせました。「ごはんにしよう!」は、どんな状況にあっても人を楽しませ、人と人をつなげることのできる“料理”の魅力が含まれた言葉でもあるようです。

●身近にある“みどり”に目を向けて…

11月19日、役場で「東海村みどりのワークショップ」が開催されました。これは、「東海村緑の基本計画」に基づき、村民・事業者・行政との協働でみどりのまちづくりを具体化していくためのもの。これまでの緑地保全活動を振り返ったり、緑地の現状を確認したり、村全体の地形模型に、“東海十二景”をはじめ、新川に遡上するサケ、押延溜周辺にある里山景観、サワギキョウの群落など、参加者それぞれが気に入っている場所などを示したりしました。“共にみどりを守り・活かし・育て・伝える”という考え方を参加者と共有し、みどりの保全と活用に向けた取り組みをスタートさせました。※13ページに関連記事があります。



質疑に答える志賀さん(左)と土屋さん(右)

●“地域力”は“防災力”にもつながります

11月20日、東海村研究交流プラザで「平成23年度まちづくりフォーラム」が開催されました。「地域力と防災力を高めよう!」をテーマに、日立市日高学区区民自治会会長の志賀勝弘さんは、震災時に地域住民から多くの協力を得られたことを日頃のコミュニティ活動の成果があったことと振り返ったほか、龍ヶ崎市浅間ヶ浦自治会顧問・自主防災会副会長兼技術顧問の土屋義郎さんは皆で訓練することにより防災意識の高まりだけでなく、コミュニケーションを深める役割になっていると話しました。住民同士の連携が大切であることを実感した東日本大震災——2自治会の報告から、地域力を高める努力が防災力にもつながっていくことを感じさせました。

国保だより

保健年金課国保年金担当(☎282-1711:内線1133)



その① 平成22年度の決算状況

国民健康保険制度(国保)は、万が一の病気やけがのときに、安心して医療が受けられるように、保険税を皆で出し合って医療費に充てることで、相互に助け合う医療保険制度です。被保険者の皆さんに国民健康保険の制度をお伝えするため、今号から「国保だより」をお届けします。今回は平成22年度国保特別会計の決算状況についてお知らせします。

●2年連続で赤字決算

平成22年度の歳入合計は、26億9,031万2千円で前年度比5,734万3千円の減となりました。歳入のうち、皆さんに納めていただいている国民健康保険税は5億949万4千円で、前年度比2,323万4千円の減となっています。

一方、歳出合計は28億622万9千円で、前年度比3,175万8千円の増となりました。主な歳出は、保険給付費(自己負担を除く医療費)が19億636万8千円で、前年度比7,443万6千円の増となっています。

歳入歳出差引額は、平成22年度で1億1,591万7千円の赤字、平成21年度は2,681万6千円の赤字と2年連続の赤字です。赤字

の要因は、保険給付費が著しく伸びたことや保険税収入が低下していることなどによるものですが、非常に苦しい会計運営に陥っています。村国保の厳しい財政状況をご理解いただき、今後の国保財政の立て直しにご協力をお願いします。

●平成22年度国保特別会計決算状況

	科目	22年度 (千円)	21年度 (千円)	増減率 (%)
歳入	国民健康保険税	509,494	532,728	▲4.4
	国県支出金等	1,778,109	1,778,554	0.0
	一般会計繰入金	384,976	300,000	28.3
	その他収入	17,733	136,373	▲87.0
	小計	2,690,312	2,747,655	▲2.1
歳出	保険給付費	1,906,367	1,831,932	4.1
	後期高齢者支援金等	780,163	810,300	▲3.7
	保健事業費	34,857	36,379	▲4.2
	その他支出	84,842	95,860	▲11.5
	小計	2,806,229	2,774,471	1.1
歳入歳出差引額		▲115,917	▲26,816	

災害に関するお知らせ

～東北地方太平洋沖地震関連のお知らせ～

茨城県弁護士会による「原発事故被害者救済センター」を開設

福島第一原子力発電所の事故で被害に遭った方が適正な賠償を受けられるように弁護士を紹介する「原発事故被害者救済センター」を開設しました。

■対象 個人・事業者を問わず、福島第一原子力発電所の事故により損害を受けた方(他県からの避難者も含む)

■相談内容 ▼原子力損害賠償に関する相談(3回まで無料)▼東京電力に対する損害賠償請求の代理

(有料) ▼紛争解決センターへの和解仲介の申し立ての代理(有料)
▼原子力損害賠償支援機構に対する仮払請求の代理(有料)

■紹介窓口 ☎222-7072(土・日曜日、祝日を除く午前10時～午後3時)

■相談までの流れ ①紹介窓口への問い合わせを受け、当センターが担当弁護士に連絡します。②担当弁護士から連絡がありますので相談日時を決めてください。③予約した相談日時に担当弁護士の事務所でお受けします。

■問い合わせ 茨城県弁護士会(☎221-3501)

国民年金 だより 震災特例免除制度 について

今回は、お問い合わせの多い事例を紹介します。

Q すでに支払い済みの保険料を、震災特例免除申請をすることにより、返金してもらうことはできますか？

A 原則として、すでに納付された保険料は返金されません。すでに納付された保険料については、将来受け取る年金額に反映されます。

Q すでに一部免除・納付猶予が認められている場合でも、震災特例全額免除を申請し直すことはできますか？

A 可能です。被災により家屋や家財におおむね2分の1以上の損害が生じている場合は、申請により全額免除が受けられます。免除適用期間は平成23年2月分から平成24年6月分までです(申請期限は平成24年3月末)。

Q 申請者本人の持ち物ではなく配偶者や世帯主名義の家屋や家財に2分の1以上の損害が生じている場合でも、震災特例免除を申請することはできますか？

A 可能です。震災特例免除は、被保険者本人・配偶者・世帯主いずれかが所有する財産等について、おおむね2分の1以上の損害が生じた場合、申請できます。

■問い合わせ

ねんきんダイヤル(☎0570・05

1165)、水戸北年金事務所国民年金業務課(☎231局2381)、保健年金課国保年金担当(☎

282局1711内線1133)

指導者からのメッセージ

青少年育成 月刊 体験記

PART. 114

※右が今回のエッセイスト



「東海やったん祭」副実行委員長を務めて

東海やったん祭副実行委員長 舟石川 土生都 英樹

日立市生まれの私が東海村と縁を持つようになった、およそ10年がたちました。私は青少年のためのお祭りである「東海やったん祭」に10年前の当時から深い関わりがあり、村の数あるイベントの中でも格別の思い入れを持っています。

もともと「東海やったん祭」は東海村青年会が主体となって始まりました。開催に至るまでのお話を伺う機会があり、「東海やったん祭」は当時の方々の並々ならぬ熱意によって誕生したことが分かりました。この「東海やったん祭」を継続していくことは我々の大切な役割だとあらためて感じました。今回で28回目を迎えた「東海やったん祭」、今年はいばらき教育の日「推進協議

会の後援を受けて行われました。

昨年は季節外れの台風により中止を余儀なくされてしまい、大変残念な思いをいたしました。これは参加ご協力いただいた多くの青少年関連団体の皆さんも同じだったと思います。今年こそは、という強い意気込みが、夏から始動した実行委員会でも強く感じられました。

そのような中、今年の「東海やったん祭」で最も印象的であったことは、村内中学校から志願した19人の中学生スタッフたちの大活躍ぶりです。

「東海やったん祭」の運営は、本部の手となり足となるスタッフの充実がものをいいます。その意味で、今年の中学生スタッフは非常によく動いてくれました。会場で使用する看板の製作に始まり、当日は昼食をゆつくり食べる時間がない中でも不平を漏らすこともなく、本部の指示に従って走り回ってくれました。祭りの後の、猛烈な雨の中での会場の後片付け作業においても、大人でも嫌がるであろう過酷な作業を黙々と最後まで続けてくれたその姿勢には頭が下がる思いでした。

中学生スタッフには「東海やったん祭」での得難い経験を今後に生かしてもらえれば幸いです。そしてそれを見た来場者である子どもたちが彼らの後に続くことを願い、今後も「東海やったん祭」を支えたいと思います。

こんにちは！ MED 村立東海病院



より良い入院生活を送っていただくために

いよいよ師走の時期になりました。東日本大震災の影響で、今もさまざまな地域で復興作業が進められています。現在は平常運営に戻った当院ですが、建物の修繕等においては震災による爪痕がまだ残っている状況です。今回は、このような状況下でも変わりなく患者さんの“看護と介護”にあたっているスタッフを中心に、一般・療養それぞれの病棟を紹介します。

一般病棟(3階・40床)

当病棟は、一般混合病棟(主に内科、整形外科、外科)です。内科では、急性期から慢性期までのさまざまな段階の患者さん、整形外科では交通外傷や転倒等で手術が必要な患者さん、外科では消化器疾患やそけいヘルニアの手術が必要な患者さん等が入院しています。また、近隣の大きな病院から亜急性期、リハビリを目的とした患者さんの受け入れを行っており、病院理念である“地域社会に貢献すること”を目指し、地域医療の充実に向けて取り組んでいます。



看護体制は1人の患者さんに1人の看護師が入院から退院まで責任を持って担当するプライマリーナースングというシステムを導入しています。患者さん一人ひとりのニーズや期待に応えられる安心・安楽・安全な医療看護を提供しています。看護スタッフは、患者さんやご家族の立場を尊重し、思いやりのある看護の提供のために日々努力しています。入院中、お困りのことがあれば何でもご相談ください。

スタッフ一同、やりがいのある職場で誇りを持って働いています。地域の皆さんに愛され、信頼していただけるよう頑張っています！

療養病棟(2階・40床)

手術後のリハビリを目的とする方や、終末期の方など、さまざまな患者さんが入院しています。認知症を伴う高齢の患者さんも多くいますので、転倒や誤嚥防止等に配慮した安楽・安全な看護を提供しています。また終末期の患者さんに対しては、最期の場として、患者さんがより自分らしく尊厳を保ちつつ、ご家族との大切な時間を有意義に過ごせるようお手伝いしています。

看護師と介護福祉士が共に協力し合い、入院から退院までの計画を立案し、患者さんの生活リズムを整え、ADL(日常生活における動作)の向上を目指しています。また、在宅や施設への退院準備では、今後必要とされるケアについて、地域のケアマネージャーやスタッフに引き継ぐなど橋渡しの役目も果たしています。

書き初めや七夕など季節の行事を開催したり、作業療法士の協力を得て食堂やリハビリ室にて毎週レクリエーションを行うなど、患者さんにとって楽しみのある療養生活になるようお手伝いしています。また勉強会を企画するなど、患者さんが安心して笑顔で療養できるよう、スタッフ一丸となって日々努力しています。



健診室からのお知らせ

忙しい年末ですが、体調管理にも十分注意して過ごしましょう。今月号からこのコーナーでは、当院人間ドックのオプション検査内容を紹介します。

【胸部CT検査】

当院では、最新鋭の64マルチスライスCT装置を導入しています。この装置を用いて、肺がんをはじめとする肺の病気を発見するために検査を行います。検査所要時間は約5分、費用は13,650円です。ご希望の方は、人間ドックの申込時に申し出てください。

●問い合わせ 村立東海病院健診直通(☎282-2614)



問い合わせ●村立東海病院(☎282-2188)、保健年金課地域医療担当(☎287-0899)

定年就農者を募集しています

最近、会社を定年退職したことを契機に、野菜や花を栽培する方が増えているようです。家庭菜園は、食べたいと思う作物を自らが手塩にかけて育て、安全・安心で新鮮な野菜を収穫できることが魅力です。しかし、いざ自分で栽培してみると思ったよりも難しく、店頭に並ぶような立派なもの、見よう見まねではなかなかできないのが実情のようです。

村では、無料で有機農業実践塾を開講しています。50歳以上で会社等を退職し農業に専念でき、受講終了後は直売所での販売を希望する方が対象です。有機栽培の専門指導者が、理論と実践の両面から無農薬・無化学肥料栽培の基礎から伝授し、受講生が有機栽培に取り組みことができるように指導します。

1年目に栽培の基礎、2年目は多品目の栽培、3年目には直売所出荷を目指して高品質の野菜を栽培するというカリキュラムを用意しています。好きなものを自由に作れる農地100平方メートルと、農作業用の小型機械や虫よけネット等の簡単な資材を無料で貸し出します。種や苗は自己負担となりますが、収穫物は全て自分のものとなります。現在、7人の受講生を募集しています。直売所マイスターを目指して頑張ってみませんか。詳細は農業支援センターまでお問い合わせください。

▼問い合わせ 農業支援センター(東海ファーマーズマーケット「にじのなか」内 ☎287局7867)

なごみチャンネル

なごみ総合支援センターの活動を紹介する「なごみチャンネル」。今回は、「精神障がい者デイケア事業」についてお伝えします。

●「精神障がい者デイケア事業」を行っています
最近、働き盛りの方を中心に、仕事や生活に対する不安や悩み、ストレスが原因で起こる「こころの病」にかかる方が増えています。なごみでは、うつ病や統合失調症などの方に對して「精神障がい者デイケア事業」を実施しています。

●参加者の声
「外に出るきっかけになり、友達もできました。家にいるときは何もやらなかったけれど、デイケアでお料理を覚えました(50代女性)」
「デイケアに来るようになり、仲間ができました。毎週参加するのが楽しみです(20代男性)」

●活動日時
毎週金曜日 午前9時30分～正午

●対象となる方
精神科や心療内科への通院・治療を継続して

おり、病状が安定している方 ※主治医からデイケア通所の了解を得ることが必要です。

◆主なプログラム
調理実習、ビデオ鑑賞、ラオケ、書道、軽スポーツ、工場見学、散策など

◆費用
無料 ※施設入場料などを一部負担していた場合があります。

●利用までの流れ
①なごみに相談：電話またはお越しの上、デイケアを利用したい旨をお知らせください。
②デイケアの見学・体験：実際の様子を見学してみましよう。一緒に体験することもできます。
③利用申請：デイケアを利用するには申請が必要で、必要書類を提出してください。

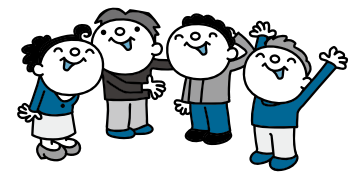
●精神保健福祉に関する相談を受けています
期日
月曜日から金曜日まで(祝日を除く)

◆時間
午前8時30分～午後5時15分

◆費用
無料

◆その他
電話での相談も可能です。お気軽にご相談ください。

●問い合わせ
なごみ・総合支援センター(☎287局2525)



文芸とうかい



【俳句】

セシウムという悪しきもの北駆ける
南 台 渋谷ひろし
すゝきの穂風にかがやき秋深し
外 宿 照沼あや子
紫陽花の花鮮やかに返り咲き
舟石川 舂井 愛子
ブナの樹に熊の爪あと草紅葉
東 海 佐藤 とよ
本震の記憶の余震肌寒し
村 松 松本 正勝
暮れなずむ渡良瀬川に紅葉舞う
豊 白 中島エミ子
大小の芋見て楽しさつま掘り
外 宿 西山 純一
気まぐれな風に戸惑う落ち葉かな
村松北 小野寺紀夫
紅葉狩り神の御心滝の白
舟石川 辻本 敏江
小春日の夫の一步の重さかな
緑ヶ丘 田中ミヤ子
みちのくの大^だ悲の日差し冬桜
豊 白 小林 久男
秋深し見頃の紅葉去^こ去^こ今年
舟石川 辻本 國男
霜の庭皇帝ダリア満ちて咲く
船 場 畑 耕太

【短歌】
吾亦紅妻としみじみ聴きながら亡き
父母を静かに偲ぶ
村 松 高橋 正弘

取入れの終りし畑の静もりて入り日
のあかく立冬の来る

船 場 舂井庫之助

三太像背にして撮りし湯の帰り友ら
笑顔に写りしは良し

須和間 柴山 靖子

熟れし柿ひとつ残せる柿の木にあさ
つゆのなか鳥の啄む

内 宿 村上 文江

足もとにふと目に止まるにらの花紫
あわく花火の如し

外 宿 小林美代子

うつつらと雲間に浮ぶ赤城山紅葉に
むせぶ伊香保の山路

照 沼 佐藤 昇

幾重にも雲を染めなす夕焼けは秋の
淋しさ残し消えゆく

緑ヶ丘 佐藤 正

寝苦しき朝に目覚めて戸を開けし萩
は涼しき風をくれしが

白方中央 根本 怜子

山畑で作りし^も諸の紅あずま仮設で暮
す従兄弟へ送る

南 台 根本内俊男

紅葉のまぶしきまでの谷川岳八十路
をすぎてたのしく旅す

舟石川 小川志つ江

帰り来る子等を待ちつつ朝早く^も厨に
握るお萩の香る

村松北 黒澤 孝子

束の間の賑はひ過ぎて孫ら去り夫婦
の会話少なくなりし

村 松 桜井 秀子



STATION GALLERY

■場 所 JR東海駅(駅舎1・2階)
■問い合わせ 東海駅コミュニティ施設管理室(☎287-3680)

Water Color Us 4+2 ~進化する手習い~



期間 12月11日(日)～17日(土)
時間 午前10時～午後7時(最終日は午後3時閉館)
水彩画の手習いを始めて10年目を迎えた4人(関昭二さん、神田英雄さん、坂本早苗さん、鈴木久子さん)と講師2人(金子陽之助さん、宇野彰さん)による初のグループ展です。身近な画材の可能性と6人の個性をお楽しみください。11日(日)と14日(水)には会場にて水彩画体験ワークショップも開催されます。

河野弘写真真展



期間 平成24年1月8日(日)～14日(土)
時間 午前9時30分～午後7時(最終日は午後3時閉館)
河野弘さん(舟石川駅東在住・茨城写真連盟理事)の3回目の個展。今回は、公募展(二科展・県展等)出品作6組と組み写真13組の展示を通して、“時の流れや情景の思い”を表現します。作品から何かを感じ取っていただければ幸いです。

ギ
ャ
ラ
リ
ー
A

いんばおめーしよん

役場の
電話番号 ☎ 282-1711(代表)

●人口と世帯数●

平成 23 年 11 月 1 日 現在 (前月比)	
世帯数	14,446 世帯 (+ 14)
総人口	37,852 人 (+ 39)

●12月の納付●

納期限	12月26日(月)・27日(火)
納付種別	国民健康保険税(第6期分) 後期高齢者医療保険料(第6期分) 介護保険料(第5期分) 里川堰土地改良区費(第4期分)*

*里川堰土地改良区費のみ12月26日となります。

●12月の休日診療●

診療時間 午前9時30分から午後2時まで
※正午～午後1時を除きます。

期日	医療機関名	電話番号
11日(日)	茨城東病院	282-1151
18日(日)	村立東海病院	282-2188
23日(金)	東原クリニック	283-2301
25日(日)	村立東海病院	282-2188
30日(金)	尾形クリニック	282-4781
31日(土)	尾形クリニック	282-4781

救急医療機関をお探しのときは ▼毎日…24時間対応

茨城県救急医療情報コントロールセンター
(☎241-4199)

茨城子ども救急電話相談 ▼午前9時～午後5時…日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)▼午後6時30分～11時30分…毎日

プッシュ回線の固定電話、携帯電話から
(☎ #8000)

全ての電話から (☎ 254-9900)

●窓口業務時間延長●

実施日時 第1・3木曜日 午後7時まで

【実施課】主な取り扱い業務※

【住民課】住民登録、印鑑登録、パスポートの交付、各種証明書・許可書の発行等

【保健年金課】保険や年金に関する各種手続き、母子健康手帳の交付等

【社会福祉課】保育所の手続き、子ども手当・児童扶養手当の申請等

【会計課】国税と県税を除く各種税金・使用料等の支払い

【税務課】各種証明書の発行、村税納税相談(要予約)

【水道課】上水道の手続き、上下水道料金の支払いなど

※詳しくは、村公式ホームページをご覧ください。

●防災行政無線の内容が無料で聞けるテレホンサービス●

全ての電話から (☎ 0120-42-4848)

暮らし



市町村職員をかたる「還付金等詐欺」にご注意ください!

隣接市で、市の職員を名乗り、医療費の還付金手続きが行えるとATMへ誘導し、現金を振り込ませる詐欺事件が発生しました。全国でも同様の手口の「還付金等詐欺」が多発していますのでご注意ください。なお、市町村の職員が、還付金等の受け取り手続きのためにATMの操作をお願いすることは絶対ありません。少しでも不審だと感じる電話等があったときは、消費生活センターへ



ご連絡ください。
☎東海村消費生活センター(☎287-0858)

多重債務相談窓口を開設しています

水戸財務事務所では、多重債務に陥ってしまった方からの相談を受けています。状況を伺い、債務の整理方法のアドバイスや、必要に応じ法律の専門家への引き継ぎも行います。1人で悩まず、お電話ください。なお、相談は無料で、秘密は厳守されます。
期日▼月曜日(金曜日)まで(祝日、12月29日(木)～平成24年1月3日(火)を除く)



時間▼午前8時30分～午後4時30分(正午～午後1時を除く)

☎水戸財務事務所多重債務相談窓口(多重債務相談専用ダイヤル ☎221-3190)

「東海村みどりのワークシヨップ」を開催

村では、みどりの保全と活用について考える「東海村みどりのワークシヨップ」を開催します。ぜひご参加ください。
期日▼12月18日(日)
時間▼午後1時～4時
集合場所▼石神コミュニティセンター
対象▼村内在住・在勤の方
内容▼前谷津地区周辺を歩き、美しい景色が見える場所などを探します。



建物を取り壊した場合にご連絡ください

固定資産税が課税されている建物を、平成23年1月2日から平成24年1月1日までに取り壊した場合は、平成24年度以降の固定資産税は課税されなくなります。適正な課税をするため、現地確認等の手続きが必要となりますので、12月28日(水)までに税務課へご連絡ください。なお、平成24年1月以降の連絡の場合は、取り壊し日を証明する書類が必要となります。
☎税務課資産税担当(内線1112)

参加費▼無料

☎都市政策課緑化推進担当(内線1243)※事前申し込みは不要です。

健康・医療



住民検診の未受診者検診を実施します

村では、今年度実施した住民検診等を受診していない方を対象に、検診を実施します。

期日▼平成24年1月19日(木)・20日(金)
受付時間▼午前9時30分～11時、午後1時30分～3時
場所▼保健センター
対象等▼

検診名	対象
結核肺がん検診	40歳以上の方(65歳以上の方は結核検診を含む)
前立腺がん検診	50歳以上80歳未満の男性
大腸がん検診	40歳以上の方
肝炎ウィルス検査	18歳以上で村の検査を受けたことがない方
生活習慣病予防検診	18歳以上40歳未満の方

費用▼無料
その他▼特定健診、高齢者健診を受診していない方も受診可能です。▼「大腸がん検診無料クーポン券」の利用も可能です。

【申・固】健康診査調査票」等で申し込みにしていない方や最近転入した方で、受診を希望する方は、平成24年1月13日(金)まで(土・日曜

日、祝日、12月29日(木)～平成24年1月3日(火)を除く)の午前8時30分～午後5時15分に、保健センター(☎282局2797)へ申し込みください。

献血にご協力ください

村では、日本赤十字社などと協力して、献血バスによる献血を実施します。病气やけがなどで輸血を必要とする方の尊い生命を救うため、ご協力をお願いします。

期日▼12月22日(木)
時間▼午前10時から午後4時まで(午後0時15分～1時30分を除く)
場所▼イオン東海店
持参するもの▼①自動車運転免許証等の身分を証するもの(初めて献血をする方と過去の献血で本人確認が済んでいない方のみ)②献血手帳・献血カード(お持ちの方のみ)
固保健センター(☎282局2797)

福祉



ひとり親家庭の児童にランドセルを差し上げます

匿名の方からランドセルの寄付が茨城県母子寡婦福祉連合会にありま

した。このランドセルを、村母子寡婦福祉会が、村内在住で平成24年4月に小学校へ入学する子どもを養育している母子・父子家庭(ひとり親家庭)を対象に配布します。



【申・固】12月26日(月)まで(土・日曜日、祝日を除く)の午前8時30分～午後5時15分に、社会福祉課こども室(内線1185)へ申し込みください。※▼申し込み時に、①住所②氏名(保護者・児童)③電話番号④ランドセルの希望色(赤または黒)⑤児童の性別(生年月日)をお知らせください。▼応募者多数の場合は抽選となります。

「家族介護者交流会」を開催

常時在宅で家族を介護している方々で集まり、懇談などを通して交流し、リフレッシュしませんか。

期日▼平成24年1月16日(月)
時間▼午前9時30分～午後3時
場所▼ガラス工房シリカ、魚の宿まるみつ(いずれも北茨城市)

対象▼要介護2以上、または▽身体障害者手帳1級・2級▽療育手帳の総合判定(A・A▽精神障害者保健福祉手帳1級)のいずれかに該当する方を在宅で介護している村内在住の方

子育て



子育て支援講演会を開催します

期日▼平成24年1月16日(月)
時間▼午後1時30分～3時
場所▼総合福祉センター「絆」
対象▼村内在住で思春期の子どもがいる保護者など
定員▼50人程度

演題▼「思春期の子育てのコツ」親子が幸せになるXとYの法則」
講師▼田村節子さん(臨床心理士)
入場料▼無料
その他▼予約制保育サービズ(無料)がありますので、申し込み時にお知らせください。

【申・固】平成24年1月6日(金)まで(土・日曜日、祝日、12月29日(木)～平成24年1月3日(火)を除く)の午前8時30分～午後5時15分に、保健センター(☎282局2797)へ申し込みください。

教養・スポーツ



げんでんふれあいコンサート2011
「宗次郎オカリナコンサート」を開催

県内在住で世界的にも有名なオカリナ奏者・宗次郎のステージに、二胡奏者・チェンミンをスペシャルゲストに迎えるコンサートです。オカリナと二胡が奏でる癒しの音色をお楽しみください。



期日▼平成24年2月8日(水)

時間▼午後6時30分開演

場所▼東海文化センター

入場料▼2000円/人(全席指定)

※未就学児の入場はできません。

その他▼保育サービス(1000円/人)をご希望の方は、平成24年

2月1日(水)までに申し込みください。

☎・☎12月17日(土)の午前9時から、東海文化センター(☎282局8511)で入場券を発売します(整理券を配布する場合あり)。残券があった場合のみ、同日・午後1時から電話予約を受け付けます。※発売初日の購入は1人4枚までとさせていただきます。

初・中級者テニス教室を開催します

期日▼平成24年1月14日から2月5

日までの毎週土・日曜日(全8回)

時間▼午前11時～午後1時

場所▼村テニスコート

対象▼村内在住・在勤・在学または村

テニス連盟登録者(同居家族を含む)で中学生以上の方

定員▼40人※人数を調整する場合があります。

参加費▼3000円/人

☎村テニスコートクラブハウス備え

付けの申込書に必要事項を記入の上、平成24年1月8日(日)まで(月

曜日、12月28日

(水)～平成24年

1月3日(火)を除

く)に申し込みく

ださい。

☎岸本克己さん(東海村テニス連

盟事務局 ☎090・7421・

4679)



その他



「ワーク・ライフ・バランス」を推進する企業を応援します

県では、「ワーク・ライフ・バランス」(仕事と生活(家事・介護・育児、趣味

や自己啓発など仕事以外の時間)の調和がとれていてどちらも充実していること)を推進する企業を応援する制度があります。詳しくは、県労働政策課へお問い合わせください。

【仕事と生活の調和推進計画】
企業が、「仕事と生活の調和推進計画」を届け出た場合には、県のホームページで企業名と取り組み内容を紹介しますので、企業のイメージアップにつながります。また、県の建設工事の入札参加資格者名簿作成の際、加

点項目(主観項目)として取り扱われます(平成23年度資格者名簿分)。

【仕事と生活の調和支援奨励金制度】

県では、育児介護休業法が努力義務

としている休業制度や短時間勤務制度

等を導入し、実際に制度を3か月以上

利用した従業員がいた場合に、中小企

業主に対して奨励金を支給しています。

☎茨城県労働政策課(☎301局3635

HP <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/syokou/roesai/>)

【間】

日立市●ヒタチスターライト

イルミネーション2011

高さ16メートルの天然モミの木に

よるメインツリーを中心に、360

度に広がる約10万個のイルミネー

ションが輝きます。希望の光をぜひ

ご覧ください。

期間▼12月25日(日)まで

時間▼午後5時～9時(土・日曜日は

午後10時まで)

場所▼日立新都市広場JRR日立駅前

☎日立シビックセンター(☎

0294・24・7711

HP <http://www.civic.jp/hsi2011/index.htm>)

大洗町●大洗マラソン「サン

ビーチ・マイルレース」

大洗の潮風を受けながら、砂浜な

どのバラエティーに富んだコースを

駆け抜けてみませんか。

期日▼平成24年2月5日(日)

場所▼大洗サンビーチ

種目・対象▼①親子の部(小学3年

生以下の親子)②小学の部(小学4

～6年生)③中学の部(中学生)

④高校の部(高校生)⑤壮年の部(40

歳以上の方)⑥一般の部(①～④以

外の方)※40歳以上の方は、一般

の部に参加することができます。

参加費▼無料

☎・☎大洗町生涯学習課(☎267局

02300 HP <http://www.town.orai.lg.jp/>)

☎(☎)備え付けまたはホームページ

からダウンロードした申込書に必要

事項を記入の上、平成24年1月23

日(月)までに申し込みください。



村松保育所 ● くほあきの 久保諒乃ちゃん

いろいろな思い出

ちようちんにいろいろな絵を描いてくれた諒乃ちゃん(6歳)。海の絵は遠くに住むおばあちゃんの家での思い出——お手伝いもしたそうで、「お布団を畳んだの!あとハンバーグも作ったよ!」とにこにこ話してくれました。

ぼくの夢 Dream-129 わたしの夢



夢は…。 “スイーツデコ作家” “犬を飼う”
おそのえはるか 村松小学校6年 ● 小園江春花

私の夢は2つあります。

1つ目は作家になることです。何の作家かというところ “スイーツデコ作家”です。

スイーツデコというのは、紙粘土で、本物みたいにスイーツ(お菓子)を作ってデコレーション(飾り付け)をすることです。スイーツにもさまざまな美しさがあります。スイーツデコを通して、多くの人にその美しさを分かってもらえたらいいなと思います。だから、私はスイーツの美を伝えられる作家になりたいです。

2つ目の夢は“犬を飼う”ことです。私は犬を育てたことがあります。その経験を生かして、犬と気持ちが分かり合えるような人になりたいと思います。犬を飼うということは、その命を預かるということです。もし、犬を飼う夢がかなったら、責任を持って育てたいと思います。

わが家の 子育て奮戦記

優菜(2歳)は、出産予定日より1週間早く、元気な産声を上げました。本当にうれしかったのですが、なかなか母乳が出なかったこともあり、これから始まる子育てをどのようにすればよいのか不安になりました。優菜の思いどおりに母乳を飲ませることができず、2人で泣いた時もありました。その様子を見て夫は、励ましてくれたり、育児本を買ってきて一緒に読んでくれたりしました。夫婦で試行錯誤の日々を過ごしたことを今では懐かしく思います。

子育てに不安な時期、村の新生児訪問指導で、何度か助産師に来ていただきました。優菜の体重測定など成長の様子を見ていただいたり、私のケアをしてもらったりしているうちに、子育てへの不安や悩みが少しずつ解消されていき、自信が持てるようになりました。助産師の方には感謝の気持ちでいっぱいです。

また、その頃から、長堀すこやかハウスへたびたび遊びに行くようになりました。はじめは消極的でおとなしい子を装っていたの

表紙の「ひと」

高橋千恵



か、私から一切離れなかつた優菜も、今では活発に友達と遊ぶようになり、私が振り回されています。そこで出会った先生やお母さんたちと子育ての悩みなどを話し、精神的にとても助けられています。最近、私が高熱で病院へ行く時に、優菜を一時保育に預けました。散歩や買い物など、初めての場所は抱っこして泣いて泣いてしまいう、甘えん坊だと思っていたので心配でした。しかし、迎えに行った時に担当者から、泣くこともなく、みんな楽しく遊んでいたことを聞かされ、優菜の成長ぶりに胸が熱くなりました。その優菜を見て、もっと私も外に目を向けて、いま与えられている環境を存分に活用しながら、子育てをしなければと気付かされました。

時々、優菜が食事中や何気ない生活の中で発する「ありがどうママ」「ママ上手ね」などの言葉におだてられ、教えられながら、私たち家族を支えてくれている人への感謝の気持ちを忘れず、多くの人との出会いを大切にして、みんなまで成長していきたいと思えます。

